

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 30 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部 商学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2026 年 6 月 17 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	ヨークセントジョン大学(日本語名) York St John University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	1,2,3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～1 月下旬 2 学期: 2 月上旬～6 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	人
創立年	年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (GBP) (1 現地通貨 = 216 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費		1,064,861 円	一ヶ月:10 万円ほど
食費		540,000 円	一ヶ月:基本的には自炊だけだと 2 万円 ほどでした(旅行先の外食、pub でかき ました)
図書費		2320 円	小説を買いました
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費		30000 円	giffguff を使っていました
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		800,000 円	宿泊は airbnb かホステルにとり移動も 基本的には flixbus か lcc だったので旅行 した割には治った方だと思ってます
被服費		500,000 円	洋服が趣味のためあまり参考にならない と思います
医療費		0 円	
保険費		円	形態: 明治大学で申し込んだもの
渡航旅費		10,000 円	マイル利用
ビザ申請費		100,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	3,000,000 円	
総計(A+B) ※円		3,000,000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：ヒースロー 経由地：

復路 出発地：ヒースロー 目的地：羽田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：ANA

料金：100,000 円

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： 料金：

復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名： Ana)

☒ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前： Grange) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 5 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学側に決められてました。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

多くのアジア系の留学生は特別申請しない限り The Grange と呼ばれる寮がライムズコートと言われる寮に入ります。(私は Grange でした)イギリスにしてはとても安く、キッチンなどに何か問題があっても比較的早く対応してくださいました。ただ、部屋は少し古く共用スペースもキッチンのみのため華やかな寮や何か好みがある方は大学から案内が来る前にメールなどで連絡や申請をすると他の寮にもいくことができるらしいです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地に行くまでは何も知らなかったです。イギリスの中でもとても治安がいい方なため特別心配はいらないと思いますが、用心だけはしましょう

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的に問題はなかったが格安のキャリアプランを契約していたため少しだけ繋がりにくい場所があった

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Revolut というアプリ、銀行を使っていました。基本的に日本からの留学生は Revolut か wise のどちらかでした。イギリスは基本的にどこでもカードが使えるため不自由はないどころか、お金の管理や旅行の際にも使えたためとても便利でしたおすすです。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

私は自炊中心の生活をしていたため調味料を持っていきました(現地のアジアスーパーでも高いが買える)、就活のための web テストの参考書などを紙で見たい人は持参したほうがいいと思います。基本的には現地で買えると思います。(高いが)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Managing Diversity and Inclusion in the Technological Revolution	
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 st semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar と lecture に別れています(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	
授業内容	職場環境での男の人のメンタルヘルスに関する授業
試験・課題等	ビデオ作成、ポートフォリオ作成
感想を自由記入	チームメンバーがビデオ作成提出期限に音信不通になるなどの問題もあ離ましたが 主任の先生は優しいためやりとりをして解決をすることができました。点数は取りやすい と思います

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Marketing	
科目設置学部・研究科	
履修期間	1st semester
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar と lecture に別れています(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	
授業内容	マーケティングの原理的なもの
試験・課題等	レポートとプレゼン
感想を自由記入	先生がとても親切でグループワークもセミナーでしっかりやったので友達も作りやすいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Fashion Branding	
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 st semester
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar と lecture に別れています(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	
授業内容	fashion 要素もあるがそれ以上に世界でのブランディングの仕方、消費者行動などの要素が強かった
試験・課題等	学期末に 3500 字のレポート と web サイトモックアップ作成
感想を自由記入	共通の趣味の友達を作ることができました。グループワークはあまりなかったです。隔週、プレゼンの宿題などが出されることもありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fundamentals of Sales and Marketing	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2 nd semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar と lecture に別れています(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回
担当教授	
授業内容	主にはマーケティングだったが、消費者行動にもフォーカスが当てられていた。
試験・課題等	レポートとプレゼン
感想を自由記入	授業にこない生徒が多かった。seminar の先生がウクライナ出身の先生でとてもアクセント強かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fashion Trends, Buying and Analytics	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2nd semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar と lecture に別れています(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	
授業内容	fashion 関連ではあったが、消費者行動や国別の文化特性を考慮した上での仕入れなどとても面白かった。
試験・課題等	プレゼンとレポート
感想を自由記入	前学期にできた友達が履修していたため最終学年用の授業ではあったが履修した。難易度もそこまで高いわけではなく問題はなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Tourism, Society and Culture	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2nd semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar と lecture が一緒になった workshop と言われる形です(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 210 分が 1 回
担当教授	
授業内容	ヨークの観光の歴史や他の観光名所、観光地の問題を通じて観光は土地にとって良いのか、その土地に住んでいる人にとってどんな影響を表すのか
試験・課題等	レポートとプレゼン(録音)
感想を自由記入	とても親切な先生だった。クラスの半分以上がネパール人で大半のネパールのこ達は授業にこなかったり、急にいなくなったりしていた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

cfn、外資就活、ワンキャリア、Good find

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

It,総合コンサル、事業ベンチャー、GPU ベンチャー

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の
変化等を教えてください。

個人的な意見ですが、留学に行ける環境があるにもかかわらず、「就職活動が不安だから」という理由で留学を諦めてしまうのは、あまりにももったいないと感じます。僕自身、就職活動は大学 2 年の 12 月から始めましたが、インターシップの時期以外に不便を感じたことは特にありませんでした(キャリアフォーラムなどいい機会もありました)。もちろん、留学中という貴重な時間を就活に割くべきかどうかについては様々な議論があるとは思いますが僕自身は留学しながら就活することに困難は感じませんでした。

※イギリスの真夜中から面接を受けているなど良いアイスブレイクになることもありました

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	明治大学入学、留学情報収集
	8 月 ～ 9 月	資格取得
	10 月 ～ 12 月	計画書作成、面接など
留学開始年	1 月 ～ 3 月	奨学金探し、応募
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	visa 申請、取得、出発
	10 月 ～ 12 月	中間試験(レポート、プレゼン)旅行
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末試験、ロンキヤリ、旅行
	4 月 ～ 7 月	旅行、中間試験、期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

【留学先を選定した理由】 イギリスを留学先を選んだ理由は、英語が母国語であることと、周辺の国へ行きやすい環境だったからです。後天的に英語を習得した人たちの環境よりも、ネイティブスピーカーに囲まれる環境の方が、英語特有の言い回しや話す速度の違いをより実践的に吸収できると考えました。また、ヨークセントジョン大学を選んだ理由は、東京という都会で生まれ育ったため、田舎に住んでみたいという思いがあったからです。観光に興味があり、ヨークが国内の観光地として有名だったことや、非常に治安が良かった点も大きな決め手となりました。

【これから留学を考えている人へのアドバイス】 留学に行ける環境があるにもかかわらず、「就職活動が不安だから」という理由で諦めてしまうのは非常にもったいないと感じます。私自身、大学 2 年の 12 月から就活を始めましたが、インターンの時期以外に大きな不便は感じませんでした。奨学金制度などを活用すれば留学という選択肢は取れるはずなので、将来について深く考える良い機会と捉え、最善の選択をしてください。

滞在先の寮については、特別に申請しない限り多くの日本人留学生は「The Grange」などの寮に入ります。費用が安く対応も早いですが、部屋が少し古めで共用スペースはキッチンのみです。もし設備などに希望がある場合は、大学から案内が来る前に連絡・申請すると他の寮に行けることもあるそうです。また、学校まで徒歩 7 分ですが、自転車があると便利な場面が多いので学期初めの購入をおすすめします。

現地では、学生とのモチベーションの違いや交友関係などで壁にぶつかることもありましたが、しかし、「日本は日本、現地は現地」と割り切り、これまでの自分の考え方に固執しないように気づいてからは、非常に充実した日々を送れました。授業数が少なく暇な時間が多いからこそ、自分自身に矢印を向けて考え行動する絶好の機会になると思います。